



アリに虫歯はあるの

アリには歯がない

アリは、種類によって、あまい砂糖が大好きです。虫歯は、あまい糖分をたえずとり続けると、できます。もし、アリが歯をもっていれば、すぐ虫歯になるでしょう。しかし、アリには歯がないので、虫歯にはなりません。

虫歯の原因は細菌と糖分

歯は、内側のぞうげ質とそのまわりをおおう、エナメル質とでできています。あまいものがいつも口の中に残っていると、歯の表面にくっついている「歯こう」の中にある細菌のはたらきで、糖分が酸に変えられます。この酸がエナメル質をとかすのです。歯こうは、歯くそともよばれるもので、食べ物のかすと、さまざまな細菌のまじったものです。

食べたら、すぐ歯をみがくくせをつけておくと、この歯こうも、糖分も取り除かれるので、虫歯にはなりません。みがき方がへただと、歯こうが残り効果はなくなります。

虫歯になる動物とならない動物

虫歯になりにくい動物は、ネコやイヌです。ネコやイヌのだ液は、すこしアルカリ性です。あまいものにふくまれている糖分で、少くらい酸ができて、だ液と中和してしまいます。歯をとかす酸が、できにくいのです。

虫歯になりやすい動物は、クマです。あまいものが大好きで、芸をしてほうびにもらう角砂糖で、虫歯になります。芸のじょうずなクマほど、歯がぼろぼろになっているそうです。

(監修・中山 周平)

